

県内発注企業外注ニーズ調査結果 進む発注先企業の選別化 高まる県内からの調達率

当センター(取引支援課)は、本年2月、県内主要発注企業119社を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。

これによれば、発注の総量が減少(前年に比べ 2.0%)した以上に外注先企業の総数が減少(前年に比べ 8.1%)し、発注先企業の選別化が進んでいることを窺わせます。また、県内からの調達率が10%余り高まり49.8%となり、県外調達率に肉薄しています。

なお、後半部分に掲載の「発注案件」の具体的内容をお知りになりたい場合は、当課にお問合せください。



1 生産の状況

(1) 現況

回答企業数119社の生産状況を生産品目総数340品目についてみると「多忙」とする品目が26品目で7.6%(前年度49品目14.1%)、「適正」が109品目で32.1%(前年度160品目で46.1%)、「余力あり」が205品目で60.3%(前年度138品目39.8%)となっており、前年度と比較して「多忙」が23品目で6.5%減少、「適正」が51品目で14.0%減少、「余力あり」が67品目で20.5%増加しており、前年度と比較すると大きく変化している。(図1)

これを、製造分野別に割合をみると、「多忙」は半導体が23.5%(前年度41.2%)で高く、次いで農林機器が13.3%(前年度5.6%)、OA機器が11.8%となっている。「適正」は、住宅関連が88.9%(前年度33.3%)で最も高く、次いで電子部品が58.8%(前年度58.1%)となっている。「余力あり」は、精密機器が73.9%(前年度45.5%)で最も高く、次いで一般機器が73.8%(前年度47.2%)となっている。(図2)

(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数340品目についてみると、「上昇」が25品目で7.4%(前年度64品目18.4%)、「横ばい」が146品目で42.9%(前年度164品目47.3%)、「減少」が169品目で49.7%(前年度119品目34.3%)となっており、前年度に比較して「上昇」が39品目で11.0%減少、「横ばい」が18品目で4.4%減少、「減少」が50品目で15.4%増加している。(図3)

これを、製造分野別でみると、「上昇」は農林機器が20.0%でもっとも高く、次いで半導体が17.6%、精密機器が13.0%となっている。「横ばい」は、輸送機器が56.7%で最も高く、次いで電子部品とOA機器がいずれも52.9%となっている。「減少」は、通信機器が71.4%で最も高く、次いで精密機器が69.6%、住宅関連が55.6%となっている。(図4)

2 外注状況

(1) 外注企業数

回答企業119社が外注している企業数は3,260社あり、これを県内外別でみると、「県内」が1,316社で40.4%(前年度42.0%)、「県外」が1,944社で59.6%(前年度58.0%)となっており、県外企業が628社で19.2%多くなっている。(図5)

図1 生産品目でみる現況 (合計340品目)

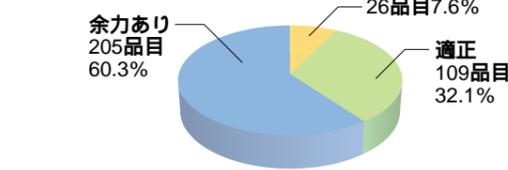


図2 製造分野でみる現況

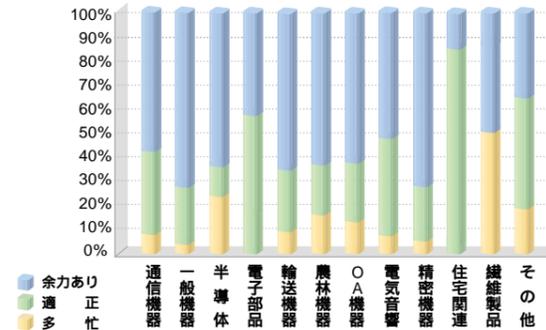


図3 生産品目でみる見通し (合計340品目)

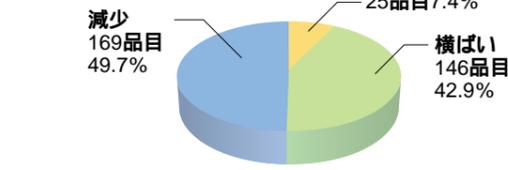


図4 製造分野でみる見通し

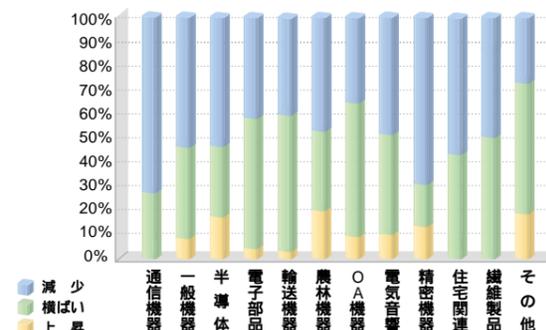


図5 県内外別外注企業数 (合計3,260社)

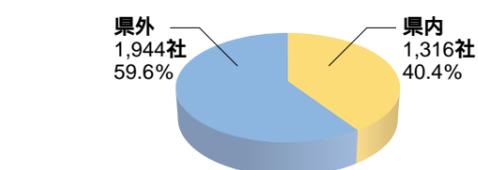
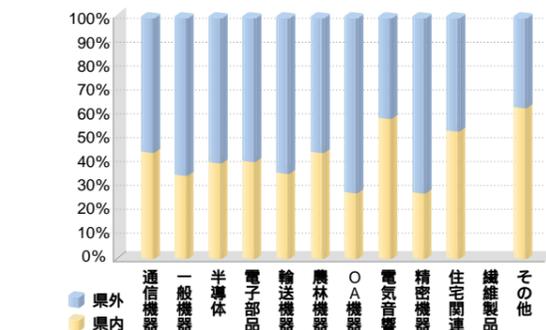


図6 製造別外注企業割合



これを製造分野別にみると、「一般機器」が619社で19.0%と最も多く、次いで「輸送機器」が444社で13.6%、「通信機器」が373社で11.4%となっている。

さらに、県内外別で県内企業の割合が高い製造分野は、「電気音響」が59.0%、次いで「住宅関連」が53.1%、「農林機器」が44.8%となっている。逆に、県外企業の割合が高い製造分野は、「OA機器」が71.3%で最も高く、次いで「精密機器」が71.1%、「輸送機器」が64.4%となっている。(図6)

(2) 外注金額

回答企業119社の1年間での発注金額合計は、1,444億9,726万円(前年度は117社で1,474億3,166万円)となった。

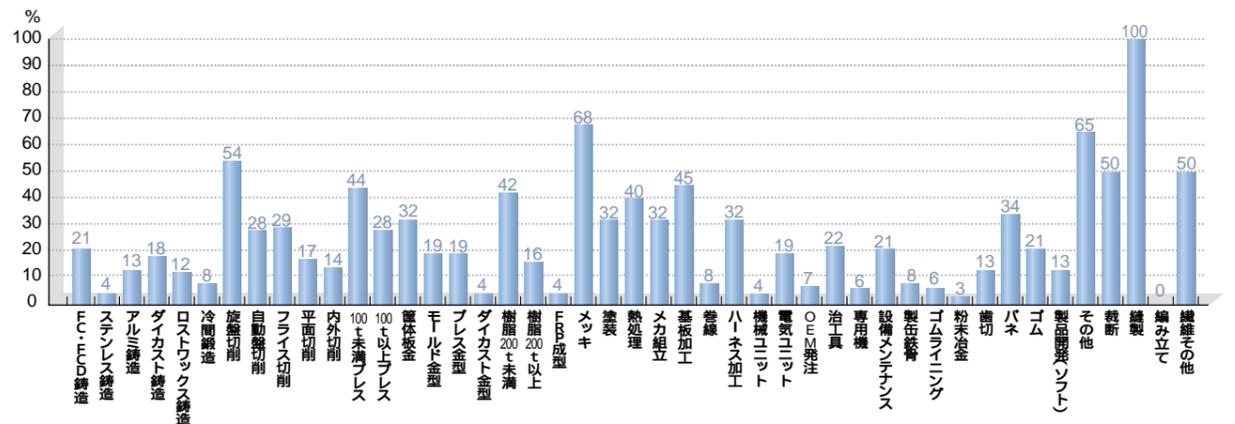
このうち県内調達は720億1,624万円(前年度は576億8,883万円)で39.1%、県外調達は724億8,102万円(前年度は897億4,283万円)で60.9%となっている。(図7)

これを、製造分野別でみると、県内調達は「住宅関連」が77.4%で最も高く、次いで「半導体」が69.6%、「農林機器」が64.2%となっている。一方県外調達についてみると、「一般機器」が86.2%で最も高く、次いで「OA機器」が81.7%、「輸送機器」が58.1%となっている。(図8)

3 外注している加工内容

回答企業119社が外注している加工内容をみると、「メッキ」が81社で68.1%と最も高く、次いで「旋盤切削」が64社で53.8%、「基板加工」が53社で44.5%となっている。(図9)

図9 加工内容別外注割合



これを、県内外別にみると、県内は「メカ組立」が71.1%で最も高く、次いで「設備メンテナンス」が68.0%、「捲線」が66.7%、「平面研削」が65.0%、「内外研削」が64.7%となっている。県外は、「冷間鍛造」が100.0%で最も高く、次いで「ロストワックス鋳造」が85.7%であり、以下「ステンレス鋳造」「ダイカスト金型」「粉末冶金」が75.0%以上となっている。(図10)

図10 加工別外注企業割合

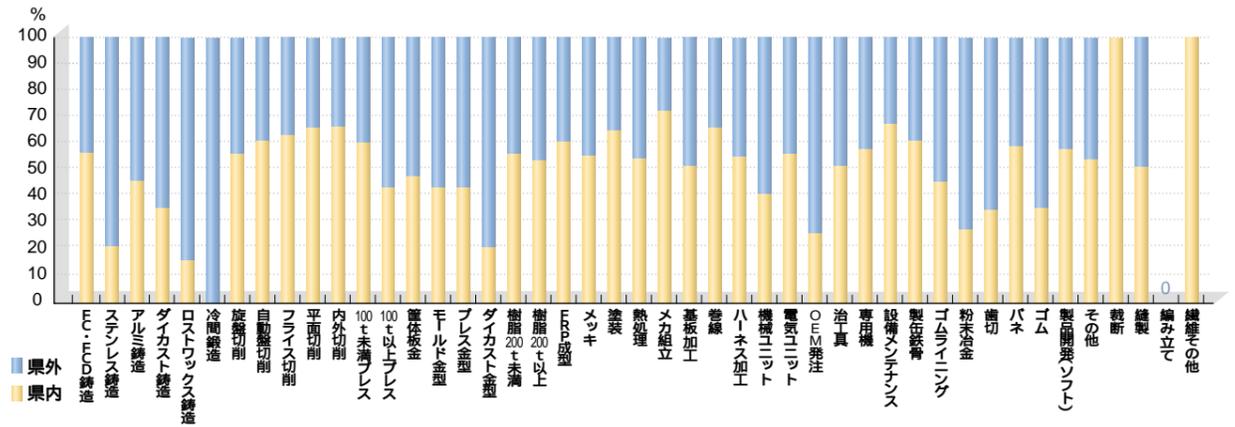


図7 県内外別外注金額 (合計1,474億円)

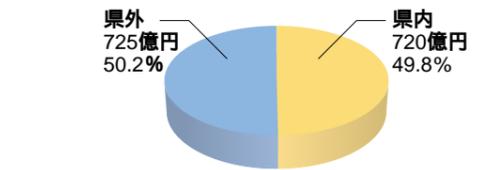


図8 製造別外注金額の割合

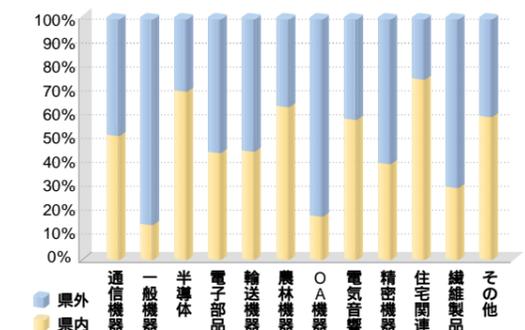
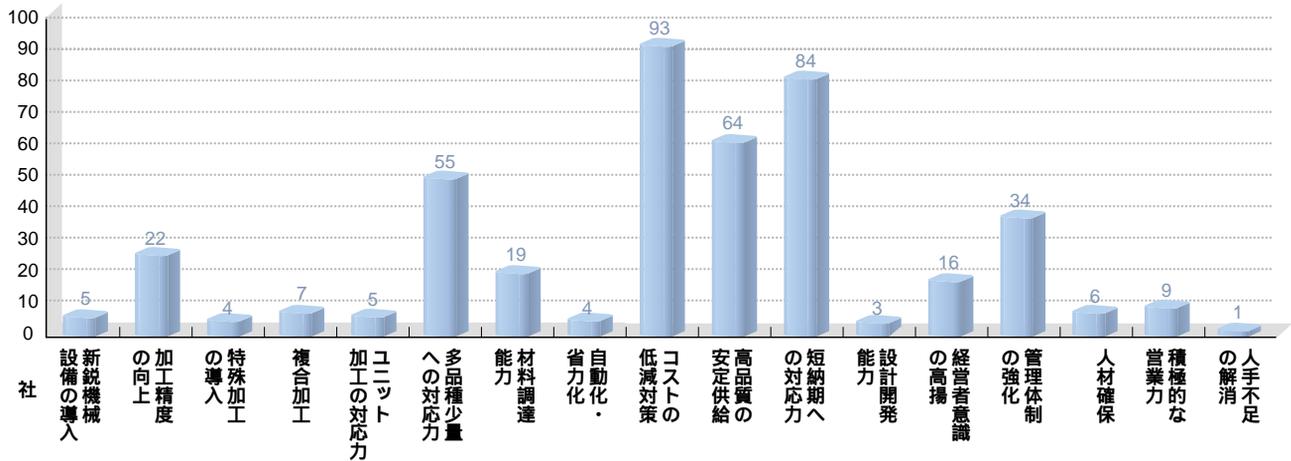


図11 外注企業に対する要望（複数回答）



4 県内外注企業に対する要望

県内発注企業が県内外注企業に対する要望としては、「コストの低減対策」が93社（78.2%）、「短納期への対応力」84社（70.6%）、「高品質の安定供給」64社（53.8%）、「多品種少量への対応力」55社（46.2%）等が上位を占め、QCDの確立が求められていることが窺われる。

以下「管理体制の強化」34社（28.6%）、「加工精度の向上」22社（18.5%）、「経営者の意識向上」16社（13.4%）等が要望として挙げられている。（図 11）

5 発注案件について

対象企業に対し発注案件について聞いたところ、「現在、県内企業に発注することが可能な案件」と「今後、新たに生じる発注案件」に分けて次のとおりとなっている。

（1）現在、県内企業に発注することが可能な案件

- | | | |
|------------------------|----------------------------|----------------------|
| ① 筐体板金加工 | ⑩ 超硬・セラミックの機械加工及び表面処理の一括発注 | ⑮ プラスチック塗装 |
| ② 試作板金加工 | ⑪ 鋳造品のMC加工 | ⑯ プレス金型 |
| ③ 筐体板金、モールド成形、スプリング | ⑫ 切削(穴明)加工 | ⑰ プレス金型修理 |
| ④ プレス、NCT加工 | ⑬ ステンレス材のフライス加工 | ⑱ 機械図面の作成、製作、メンテナンス |
| ⑤ プレス加工(DCモータ) | ⑭ 穴加工、平面研削、レーザーカット | ⑳ 制御盤、装置組立 |
| ⑥ 鋳造・旋盤切削・熱処理の一括発注 | ⑮ クロームメッキ | ㉑ 基板実装(部品の調達能力があること) |
| ⑦ 鋳物加工、機械加工、MC大形加工品、塗装 | ⑯ チタンコーティング | ㉒ ハーネス加工 |
| ⑧ アルミダイカスト、ボルト規格品 | ⑰ 樹脂メッキ、塗装 | ㉓ コネクタ成形品、プレス品 |
| ⑨ MC、旋盤、精密板金、溶接 | | ㉔ 断裁～縫製～仕上まで一貫生産 |

（2）今後、新たに生じる発注案件

- | | | |
|--------------------------------------|------------------|-----------------------|
| ① プレス加工、スポット溶接、CO ₂ アーク溶接 | ⑦ 特殊鋼の加工 | ⑮ 外観検査、メッキ等(新製品立ち上げ時) |
| ② プレス、曲げ溶接等 | ⑧ 超精密加工品 | ⑯ 基板加工(SMT・鉛フリー対応) |
| ③ 自動車用部品、プレス抵抗溶接 | ⑨ 熱処理 | ⑰ 設計～製品完成(特に電気関係) |
| ④ アルミダイカスト、機械加工 | ⑩ 組付治具、設計、製作 | ⑱ モールド、プレス、基板 |
| ⑤ 低圧鋳造、機械加工 | ⑪ 機械組立(新製品立ち上げ時) | ⑲ コネクタ成形品、プレス品 |
| ⑥ 超硬・セラミックの機械加工及び表面処理の一貫生産 | ⑫ 特殊破碎機の製造 | |
| | ⑬ プラント組立、設置 | |
| | ⑭ エンコーダ、電気部品実装 | |
- (電気部品は自社調達のこと)

